

しもつけし
ぎかい
だより

令和5年8月15日発行

令和5年第2回定例会 6月議会

—— 今号のポイントは？ ——

- 令和5年度一般会計補正予算 … P 2
- 12名の議員が市政を問う 一般質問 … P 7
- 議会活性化特別委員会 中間報告 … P 14
- 読めば答えが見えてくる!?
ぎかいだよりクイズ … P 16



👉 議場の傍聴席、座り心地は
どうですか？

👇 4階からの眺めはいいね

市内小学生が議会フロアへ
見学に来てくれました

(裏表紙にも特集しています)



しもつけ市議会だよりは議会ホームページでもご覧いただけます
ホームページ <http://www.city.shimotsuke.lg.jp>

下野市 市議会



No.69

令和5年第2回 定例会

5月31日(水)～6月15日(木)

令和5年第2回定例会は、5月31日から6月15日までの16日間の会期で開催されました。

市長提案により、人事案1件、承認5件、報告8件、令和5年度補正予算1件、その他の議案2件の計18件が提出されました。

また、発議2件の審査が行われたほか、一般質問では12名の議員が市の対応や考え方を問いました。

令和5年度一般会計補正予算を議決

一般会計補正予算
(第1・2号)

物価高騰対策として特別給付金事業等を計上

【歳入の主なもの】

- 総務費国庫補助金** 2億1,743万2,000円の追加
電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金の計上。
- 衛生費国庫負担金** 6,623万6,000円の追加
新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金の計上。
- 土木費国庫補助金** 8,890万4,000円の追加
社会資本整備総合交付金の増額。
- 衛生費国庫補助金** 5,012万円の追加
新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金の計上。

【歳出の主なもの】

- 児童措置費** 4,517万7,000円の追加(専決)
低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金事業にかかる経費を計上。
- 農業振興費** 3,488万8,000円の追加
担い手総合対策支援事業のほか、物価高騰対策として、認定農業法人は10万円、個人の認定農業者に対し、市内・外在住とも8万円、かんぴょう生産者に対し5万円、それ以外の農業者に5万円の農業経営支援事業継続支援金を計上。
- 事務局費・学校管理費(スクールバス安全装置)** 160万円の追加
国分寺小学校・南河内小中学校スクールバスに、置き去り防止を支援する安全装置を設置するための経費として新たに計上。
- 社会福祉総務費** 1億4,009万9,000円の追加
物価高騰対策として、住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金支給事業(1世帯あたり3万円)を計上。
- 商工業振興費** 7,510万円の追加
法人および個人の中小企業者等に対し、法人10万円、個人5万円の中小企業者等原油価格・物価高騰対策支援金を計上。
- 市内公共交通推進費** 492万4,000円の追加
市内路線バス、一般および福祉タクシー、デマンド交通事業者に対し、公共交通事業者燃料価格高騰対策支援金を計上。

■令和5年度一般会計補正予算

補正号数	補正額	補正後の予算額
第1号(専決処分)	4,517万7千円	263億9,517万7千円
第2号	5億4,595万1千円	269億4,112万8千円

人事

■人権擁護委員の候補者の推薦

人権擁護委員について、こむらまさお小室正男氏を推薦することを了承しました。

条例その他

議決した主な議案についてお知らせします。

栃木県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び栃木県市町村総合事務組合規約の変更について

佐野地区衛生施設組合の解散に伴い、令和5年9月30日をもって栃木県市町村総合事務組合を脱退することから、規約の変更をするものです。

佐野地区衛生施設組合が栃木県市町村総合事務組合から脱退することに伴う財産処分について

佐野地区衛生施設組合の解散に伴い、栃木県市町村総合事務組合で共同処理をしていた事務のうち退職手当支給事務に係る財産（納付額から事務費や支給した退職手当相当額）を還付するものです。

議員発議

議員が条例の制定や改正などについて、議案を提出することです。

【発議第4号】下野市議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定

全会一致で
可決

【提出者】 秋山幸男

【賛成者】 大島昌弘、村尾光子、小谷野晴夫、貝木幸男、伊藤陽一

【発議の趣旨】

従来、議員個人と市との請負は認められていなかったが、地方自治法の一部改正に伴い、政令で定める一定金額300万円までは、議員個人と市との請負は規制の対象から除かれることとなった。議員個人と市との請負状況の透明性を確保し、議会運営の公正及び事務執行の適正を図るため、議員の請負状況の公表に関し、本条例を制定する。

【発議第5号】下野市議会議員政治倫理条例の一部改正

全会一致で
可決

【提出者】 秋山幸男

【賛成者】 大島昌弘、村尾光子、小谷野晴夫、貝木幸男、伊藤陽一

【発議の趣旨】

上記発議第4号の条例制定と同様に、地方自治法の一部改正による請負禁止の規制緩和を受け、「下野市議会議員政治倫理条例」の第11条「市との請負契約等に関する遵守事項」について、議員と市との請負契約等に関する契約辞退の規定を削除し、所要の改正を行う。

議 会 の 動 き

5月

- 10日 経済建設常任委員会
- 11日 教育福祉常任委員会
- 12日 総務常任委員会
- 22日 FMゆうがお「こんにちは！下野市議会です」
(出演者：総務常任委員会)
- 24日 議会運営委員会・議員全員協議会・議会活性化特別委員会
- 25日 議会だより編集委員会
関東市議会議長会定期総会
- 29日 栃木県市議会議長会議
- 31日～6月15日 第2回定例会

- 14日 全国市議会議長会第99回定期総会
- 15日 議会だより編集委員会
- 26日 FMゆうがお「こんにちは！下野市議会です」
(出演者：経済建設常任委員会)
- 27日 第2回石橋地区消防組合議会臨時会
- 29日 議会だより編集委員会

7月

- 6日 経済建設常任委員会
- 7日 総務常任委員会
- 8日 教育福祉常任委員会
- 13日 議会運営委員会・議員全員協議会・議会活性化特別委員会

- 7日 栃木県市議会議長会議
- 11～13日 議会運営委員会行政視察
(北海道登別市・苫小牧市・千歳市)
- 12日 埼玉県川島町行政視察来庁
- 18日 議会だより編集委員会
- 20日 小山広域保健衛生組合議会 第2回臨時会
- 21日 初当選議員研修会
- 24日 FMゆうがお「こんにちは！下野市議会です」
(出演者：教育福祉常任委員会)



常任委員会 審査報告

定例会で委員会付託された議案などについて、各常任委員会での審査内容をお知らせします。

総務常任委員会

◎村尾光子 ○松山 裕
秋山幸男 石川信夫 西本由利子 坂倉 司

議案第29号 令和5年度一般会計補正予算(第2号)

総務費国庫補助金

- Q** 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について推奨メニュー分はどの事業に使われるのか。
- A** 消費下支え等を通じた生活者支援、医療・介護・保育施設に対する物価高騰対策支援、中小企業等に対するエネルギー価格高騰対策支援、地域公共交通に対する支援への支出に充てる。

議案第30号 栃木県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び栃木県市町村総合事務組合規約の変更について

- Q** 組合の業務内容と加入していることによるメリットを伺う。
- A** 市職員の退職手当の支給や職員、議員の公務災害の事務を共同処理している。単独では財政的に厳しく処理に手間がかかるため、一括して組合で実施している。

議案第31号 佐野地区衛生施設組合が栃木県市町村総合事務組合から脱退することに伴う財産処分について

- Q** 今回の脱退による本市への影響はあるのか。また、財産とは具体的にどのようなものか。
- A** 佐野地区衛生施設組合は佐野市、旧岩舟町、旧藤岡町で構成し火葬等処理していた。令和5年10月から栃木市の火葬場が供用開始となるため、組合解散となる。脱退に伴う財産処分は、職員の退職手当に充当する負担金の精算であり、これまで佐野地区が納めていた負担金を佐野市と栃木市に返還する。本市での変更はない。

教育福祉常任委員会

◎伊藤 陽一 ○山下 みゆき
大島 昌弘 相澤 康男 加藤 好雄 鈴木 一司

議案第29号 令和5年度一般会計補正予算(第2号)

住民税非課税世帯に対する 臨時特別給付金支給事業

- Q** 1世帯あたりの金額と世帯数を伺う。
- A** 1世帯あたり3万円、4,500世帯の見込み。過去の給付率は約8割であり、残りの約2割は、例えば学生等のみの世帯で親の扶養になっている方など、給付の対象外となった方も多く含まれる。

小中学校管理事業

- Q** 庁用器具購入費の内容を伺う。
- A** CO₂モニターや空気清浄機、サーキュレーターなど換気対策備品を各学校の実情に応じて購入する。

新型コロナウイルスワクチン接種事業

- Q** インターネット予約とコールセンター予約の比率を伺う。またコールセンター委託が高額な理由を伺う。
- A** スマホの普及率も高いため半々の状況である。また電話受付は、現在6回線に対応しており、接種率の向上を目指し、予約の受付やデータ入力を土、日、祝日も行っているほか、中国語、英語、ベトナム語での外国語対応なども行っていることから高額となっている。

議案第29号 令和5年度一般会計補正予算(第2号)

農業経営支援事業継続支援金

Q 支援金の内容を伺う。

A 原油価格、物価高騰により農業者にとっては、生産コストの増大が農業経営を圧迫しており、営農継続が厳しい状況が続いている。緊急的な支援として、市内の農地において営農している農業者等を対象として、法人認定農業者は10万円、個人認定農業者は8万円、干瓢生産者（認定農業者以外）は5万円、一般農業者は5万円。総計で3,086万円を見込んでいる。

中小企業者等原油価格・物価高騰対策支援金

Q 申請書類作成の手順、支援金の内容を伺う。

A 商工会に制度の周知を依頼している。基本的には個人で市の窓口申請となる。法人が10万円(487件)、個人が5万円(528件)、合計7,510万円(1,015件)を見込んでいる。

市道2-1号線整備事業

Q 整備の内容、及び交通量増に伴う安全対策について伺う。

A 主に拡幅工事になる。現在は歩道が無いが片側に歩道を設け歩車道の分離を図りたい。交差点の信号機については、警察に設置要望しつつ、設置までの間は、一時停止等の安全対策を図る。

市道1-3号線整備事業

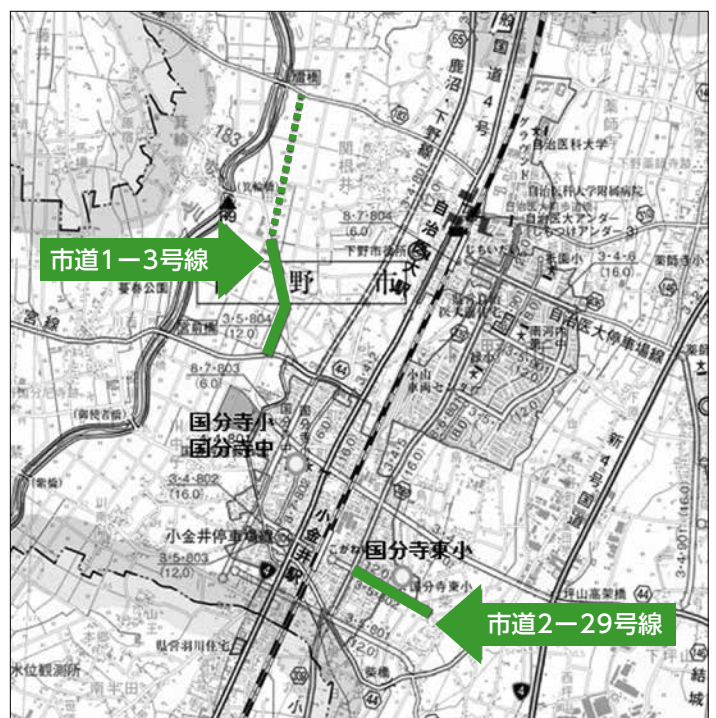
Q 整備箇所について伺う。

A 国分寺運動公園北東の曲がり道と県道栃木二宮線がぶつかる交差点からJAおやま国分寺ライスセンター方面へ北に向かっていく箇所になる。用地取得を進めながら工事を行う。

市道2-29号線整備事業

Q 整備の進捗状況について伺う。

A 今年度は、県道小山下野線から国分寺東小学校の南側正門まで完了の見込み。その先は来年度までに完成予定。



↑
 補正予算箇所図(抜粋) →

第2回定例会の審議結果

議案などに対する各議員の賛否の状況です。

議員の賛否が分かれたもの

議案等番号	付議事件	結果	坂倉司	山下みゆき	西本由利子	鈴木一司	石川浩	松山裕	加藤好雄	金子康法	伊藤陽一	五戸豊弘	貝木幸男	石川信夫	相澤康男	大島昌弘	石田陽一	小谷野晴夫	秋山幸男	村尾光子
承認1号	専決処分の承認（令和5年度下野市一般会計補正予算（第1号））	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	-	○	欠	○
議案29号	令和5年度下野市一般会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	-	○	○	○

○…賛成 ●…反対 欠…欠席 -…議長は表決に加わらない

全会一致で答申・承認・可決されたもの

議案等番号	付議事件	議案等番号	付議事件
諮問1号	人権擁護委員の候補者の推薦について	議案30号	栃木県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び栃木県市町村総合事務組合規約の変更について
承認2号	専決処分の承認を求めることについて（令和4年度下野市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号））	議案31号	佐野地区衛生施設組合が栃木県市町村総合事務組合から脱退することに伴う財産処分について
承認3号	専決処分の承認を求めることについて（下野市税条例の一部を改正する条例の制定）	[追]発議4号	下野市議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について
承認4号	専決処分の承認を求めることについて（下野市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定）	[追]発議5号	下野市議会議員政治倫理条例の一部改正について
承認5号	専決処分の承認を求めることについて（下野市国民健康保険税条例等の一部を改正する条例の制定）	[追]…追加議案	

議会に報告があったもの（表決はありません）

議案等番号	案件名	内容
報告3号	令和4年度下野市一般会計継続費繰越計算書の報告について	石橋駅自転車駐車場リノベーション事業6,550万円を令和5年度に繰り越し。
報告4号	令和4年度下野市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	新型コロナウイルスワクチン接種事業やスマートIC整備事業、しもつけ産業団地整備推進事業など25事業、9億7,136万5千円を令和5年度に繰り越し。
報告5号	令和4年度下野市一般会計事故繰越し繰越計算書の報告について	スマートIC整備事業における物件補償について、建築計画の見直し等により不測の期間を要したことにより398万6,732万円を繰り越し。
報告6号	令和4年度小山栃木都市計画事業仁良川地区土地区画整理事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について	仁良川地区土地区画整理事業における、擁壁工事に伴う地質調査の委託料や道路工事費、5件の移転補償及び賠償金の、8,640万円を令和5年度に繰り越し。
報告7号	令和4年度下野市水道事業会計予算繰越計算書の報告について	車両一体型給水車購入事業において社会情勢の影響により車両製造に必要な部品調達が困難であり年度内の完了とならなかったため、2,069万7千円を令和5年度に繰り越し。
報告8号	令和4年度下野市下水道事業会計予算繰越計算書の報告について	管渠築造工事等において他の工事との調整に時間を要したことから、1億3,100万円を令和5年度に繰り越し。
報告9号	専決処分の報告について	市道での事故に係る損害賠償金額58万2,367円の決定
報告10号	専決処分の報告について	市道での事故に係る損害賠償金額3万8,880円の決定

市政を問う 一般質問



※一般質問は議会ホームページで動画を公開しています。

第2回定例会では、12名の議員が市政に対し質問を行いました。質問と答弁の内容を要約して掲載します。

今回の質問者は

1. 伊藤 陽一 議員……………P 7
2. 小谷野晴夫 議員……………P 8
3. 金子 康法 議員……………P 8
4. 大島 昌弘 議員……………P 9
5. 石川 信夫 議員……………P 9
6. 山下みゆき 議員……………P 10
7. 加藤 好雄 議員……………P 10
8. 石川 浩 議員……………P 11
9. 西本由利子 議員……………P 11
10. 五戸 豊弘 議員……………P 12
11. 鈴木 一司 議員……………P 12
12. 村尾 光子 議員……………P 13



個人質問

いとうよういち
伊藤陽一議員が問う

生成A I

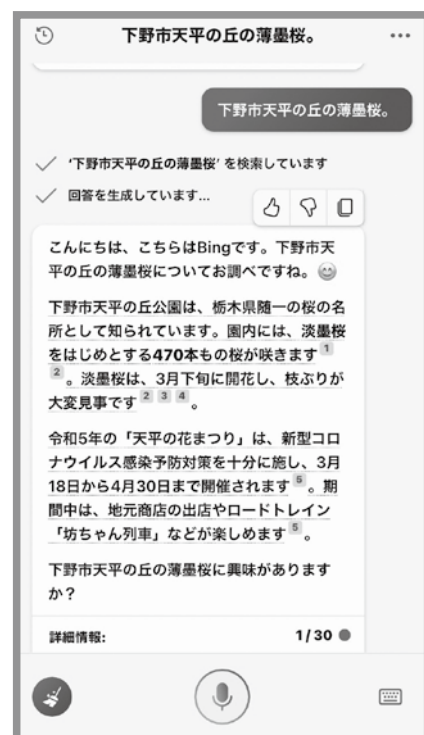
生成A Iの利活用に対する市の考えを伺う

市長

業務効率化や市民サービス向上につなげるための検討が必要である

Q 生成A Iの利活用に対する市の考えや対応方針を伺う。

A 市長 生成A Iを業務効率化や市民サービス向上につなげられないか、活用の検討が必要であると思ひ、メリットや課題を洗い出すため、5月より試験運用に着手している。業務へのサービスについては、ChatGPT、Bingチャット及びBardの代表的な3サービスとした。安全性については、セキュリティー対策の再確認を行い、インターネット検索と同等の安全確保ができると判断している。運用に当たっては個人情報の取扱い、機密情報の漏えい対策として情報の入力を行わないこと、引用元の有無などを必ず確認することとしている。



Bingチャットのサンプル



こやのはるお
小谷野晴夫議員が問う

赤字脱却

本市のふるさと納税、今後の方針は

市長 返礼品の充実と効果的なPRにより納税額拡大に努める

Q 3月31日付下野新聞の記事によると、本市は令和3年度の寄附獲得額に対して収支の目安額がマイナス約4,000万円、実質的に2.8倍強の赤字となったが、要因を伺う。また、市長は所信表明において返礼品の拡充及び特産品を活用したシティープロモーションを通じて寄附額の向上に努めるとしていたが、今後の方針を伺う。

A **市長** 本市の寄附受入額は増加しているが、県内全体で増加傾向のため令和3年度受入額は県内25市町中22位である。また、流出額（市税控除額）も大きく増加している。人口に対する利用者率が県内でも高く、1人当たりの寄附額が多いこと、また日用品をはじめとした安定的かつ多額の寄附を集められる品ぞろえの不足が要因と考える。利用を促進するため、体験型返礼品の拡充のほかポータルサイトを8か所に拡大し、シティープロモーションサイトで積極的にPRするとともに、東京圏で開催されるイベント等においても返礼品を効果的にPRしていく。引き続き市内事業者の皆様のご協力をいただき、本市の優れた特産品をはじめとした様々な魅力をPRし、納税額拡大に努めたい。



かねこやすのり
金子康法議員が問う

地域整備

小金井駅周辺まちづくりにどう取り組むのか

市長 今年度から協議検討、R8年事業着手・R12年完了を目指したい

Q 国分寺小金井駅周辺地区においては、公共施設の老朽化対策の検討・実行が喫緊の課題につき、早急に魅力あるまちづくりを推進願いたい、見解を伺う。

A **市長** 小金井駅周辺地区公共用地利活用基本方針を策定。柴公園を中心とした再編をはじめ6つの視点から事業内容を検討し、早期に事業化が図れるよう取り組む。事業の検討項目とスケジュールは別表の通り。

Q 8年間を要する工程では、重点テーマを先行着手する等の配慮はされるのか。

A **総合政策部長** 立地条件等を考慮しながら整備を進めていくため、現段階では優先順を示すのは難しい。

Q 本計画対象地域の道路整備、特に県道339号（小山下野線）は早急な補修が必要だが、対策願いたい。

A **建設水道部長** 今回計画の中心を通る幹線であり、危険箇所を早急に修繕できるよう県に働きかけるとともに、バリアフリー化についても県と協議を進める。

〈別表〉

No.	事業内容の検討項目	年度	今後の事業スケジュール
1	柴公園を中心とした拠点施設の再編	R5	関係機関協議・庁内検討等
2	駅東自転車駐輪場のリノベーション	R6	基本計画 都市再生整備計画事前協議
3	朝日公園・夕やけ公園の整備	R7	基本計画 都市再生整備計画策定
4	地域内の道路施設整備	R8	事業着手
5	まちなかウォークアブル推進事業の導入	R12	事業完了
6	地区外施設との複合化・統廃合		



ふるさと納税ポータルサイト(下野市HPより)



個人質問

おおしま まさひろ
大島昌弘議員が問う

職場環境

本市職員の職場環境について伺う

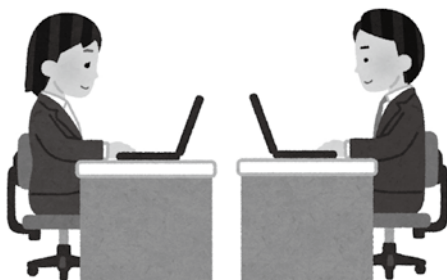
市長 育児休暇取得促進へ3年間で新採用を10人増員し職場内の負担軽減

Q 子育てを応援する職場の環境づくりや職員研修を推進するための整備体制について伺う。

A **市長** 令和3年度の男性の育児休業取得率は75%と県内市町の平均25%を上回っているが、令和4年10月からは取得回数を3年以内であれば原則2回まで可能とし、今年度からは3年かけて10名程度の正職員を採用定員に上乘せする形で採用する。これにより誰もが育児休業を取得しやすく、働く意欲のある職員が活躍できる職場環境を整備する。職場外研修としては小山地区研修協議会や市町村振興協議会、市町村アカデミーを活用しており、今年度の受講予定者は小山地区研修協議会184名、栃木県市町村振興協会83名である。また市独自の研修として管理監督者向けマネジメント力向上研修や能力開発研修を実施し、市民の皆様にも質の高い行政サービスを提供できるよう必要な予算を充実させる。

Q スキルを持った中堅職員や専門職員の採用について伺う。

A **市長** 今年度は会計年度任用職員として1級建築士の県職員OB1名を任用した。また、これまでの採用枠と別に本市独自のスキルを持った職員の採用を実施していく。



個人質問

いしかわ のぶ お
石川信夫議員が問う

公園施設

公園トイレの改修計画優先順位の決め方は

市長 劣化や損傷を起こす前に補修更新を行う予防保全管理を実施

Q 老朽化した公園トイレの点検や改修計画、優先順位はどのように行われているのか。

A **市長** 市職員や委託業者による月1回以上の定期点検と専門業者が遊具の点検を年1回実施している。改修計画、優先順位は使用期間を考慮し、計画的に予防保全型管理を行っている。

Q 施設の不具合の情報提供があった場合の対応は。

A **建設水道部長** 早期に現場を確認し、不具合の解消に努めている。情報提供者には、すぐ対応可能か予算化が必要かを判断し、連絡している。

ゼロカーボンシティ宣言について

Q 今年度宣言を出される予定だが、CO₂増加により地球の温暖化が始まるという説について、合理的因果関係は証明されていないことから、延期は考えられないか。

A **市長** 宣言は環境問題への関心や危機感を持つことにつながり、市民、市民団体事業者、行政が一丸となって循環型社会の構築を図ることにより、持続可能な環境のまちを実現できるものと考えている。

Q 宣言による既存企業への規制はあるのか。

A **市民生活部長** 罰則を設けることは考えていない。





やました
山下みゆき議員が問う

地域応援

市役所は憩いの場!? みんなの居場所に是非

市長 1階に飲食もできる休憩スペースの設置を協議・検討する

Q 生活困窮者に対し助成金や給付金、貸付などの金銭的支援の他にどのような支援をしてきたか伺う。

A 市長 相談者と一緒に考え寄り添い、自立を促す自立相談支援事業を行うほか、以下のような取組をしている。

- ・就労が困難な方に対する就労準備支援事業。
- ・生理用品無償配布（女性職員が対応）。
- ・学校において生理用品が自由に使用できる。
- ・フードドライブの実施。

Q 下野市ブランドを増やす考え、ブランド推進の取組方法を伺う。

A 市長 優れた地域資源や特産品を認定する。現在31件が認定中である。今後は新たなブランド品の発掘と普及に努めていきたい。また、研究開発費、販路開拓費、特許等取得費に係る費用の一部を補助する『下野ブランド力強化事業費補助金』の交付制度を創設し支援する。

Q 市役所を有効活用されてはどうか。

A 市長 芝生広場は今後多くの方に利用してもらいたい。1階には飲食もできる休憩スペースの設置を検討している。



かとうよしお
加藤好雄議員が問う

地域共生

重層的支援体制整備事業 にどう向き合うのか

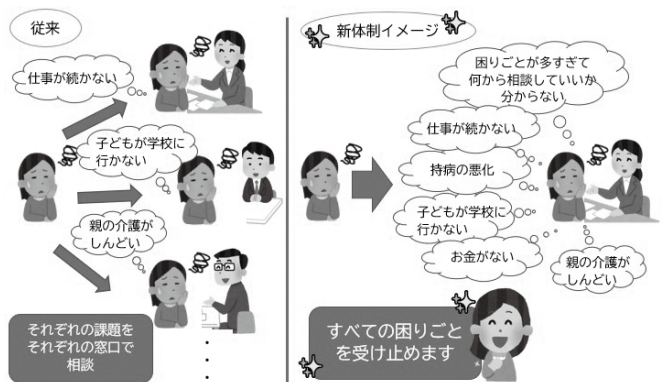
市長 すべての市民のための仕組みでなくてはならない

Q 来年度に実施予定の重層的支援体制整備事業の基本的な検討内容を伺う。

A 市長 重層的支援体制整備事業は、高齢、障がい、子ども、生活困窮等の各福祉分野における、①相談支援②参加支援③地域づくりに向けた支援の3つの支援を一体的に実施する事業である。①相談支援では、複合的課題に対応するため、今年度から専門職を配置し、各支援機関の役割分担と支援策を見出していく。また、相談機関に出向くのが困難な方へは、積極的な訪問支援体制を構築していきたい。②参加支援では、ひきこもり状態など他者とのつながりが希薄化している方へ寄り添った支援を継続していく。③地域づくりに向けた支援では、既存の福祉施設を活用しつつ、年齢や障がいの有無を越えた新たな交流の場や居場所の設置を検討する。

Q 各制度を担う行政職員の量と質を充実させることが行政には必要だ。それには市長の強いリーダーシップが大事になるがどう考えるか。

A 市長 地域の皆様と見守っていくためには、行政が中心となり責任をもって必要な支援を行っていく。





個人質問

いしかわ ひろし
石川 浩 議員が問う

移住戦略

持続可能な街づくりに取り組もう

市長

住みたい、住み続けたいと選ばれるような街づくりを研究する

Q 一生に一度の買物マイホーム、どこに作るかは決断が必要であり、住宅メーカーによる開発力・プレゼンテーション力が必要。一方で自治体としては、人口減少を食い止めるために、住み続けてもらう、移住してもらうという魅力ある街並み戦略が必要かと思う。スマートウェルネスシティへの取り組みに参画してはどうか？

A 市長 下野市に住んでみたい、住み続けたいと選ばれるよう、きれいな空気、きれいな景観、暮らしの豊さを感じられる街づくりは重要。将来の街づくりを研究する。

Q 空き家バンクの状況は？
新たな市営住宅の検討はできないか？

A 市長 空き家バンク制度開始以来、利用が少ない状況であり、制度改善には毎年取り組んでいる。様々な奨励金制度はあるが、周知不足は否めない。PRを進める。新たな市営住宅については、国・県が推進している住宅セーフティネット制度や先進地事例の研究等含め、県の指導助言も仰ぎながら検討する。

「スマートウェルネスシティ」

Smart(賢明、快適、エコ、美しい)・Wellness(健康で幸せ、安心)・City(まちづくり)のベストプラクティスを実現するという考え方であり、市民が健康で幸せに暮らせる持続可能な街づくりを目指す、新しい構想。



下野市空き家バンク



個人質問

にしもと ゆりこ
西本由利子 議員が問う

若者支援

不登校対策と若者の就業支援について伺う

教育長

学校と家庭や地域の連携・協働体制を構築していく

Q 不登校生が増加するなか、適応指導教室の今後の展開計画と中学卒業後の就労支援について伺う。

A 教育長 現在の適応指導教室は令和7年3月をもって貸借期間が終了し退去するため、早急に計画を進める。今以上の面積を確保し、相談室の数や専門の相談員の配置等も検討していく。また、移転先は運動等の体験活動ができる環境を重視したい。中学卒業後はこども福祉課が引き継ぎ対応しているが、令和6年度から重層的支援体制整備事業を構築し幅広い年代の支援を行っていく。移転先の建物の一部に、16歳以上の若者の居場所や支援拠点を併設することも検討していきたい。

Q 小規模特認校である細谷小学校の児童募集と周知について、市の取組を伺う。

A 教育長 現在、市のホームページや市広報紙、庁内デジタルサイネージでPRをしている。今後も特色ある学校づくりの取組実績を積極的に発信し、入学希望者の増加を目指していく。





このへとよひろ
五戸豊弘議員が問う

世帯支援

再度、水道基本料金の減免措置のお願い

市長 次回の第3回定例会に補正予算として上程すべく準備を進めている

Q 市民の苦しい生活状況をどのように捉え、どのような支援を計画しているのか、水道基本料金の減免等の考えはあるのか伺う。

A **市長** 令和4年4月に閣議決定された新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金のコロナ禍における原油価格・物価高騰対応分を財源とし、生活に困窮する方々の生活支援や学校給食費等の負担軽減など、子育て世帯の支援、農林水産業者や運輸、交通分野をはじめとする中小企業者等の支援といった緊急性や必要性の高い事業について取り組んできた。

水道料金の減免については、公共施設を除く市内すべての水道利用者に対し、昨年度は4か月分を実施した。今年度についても、広く一般世帯への光熱水費に対する支援ができるよう臨時交付金を活用し、水道基本料金の減免措置の実施に向け準備を進めているところである。

A **総務部長** 臨時交付金の追加交付の状況を見据えながら、減免の期間や時期について各部局と協議し、できるだけ早く取り組みたいと考えている。



すずきかずし
鈴木一司議員が問う

福祉助成

障がい者支援サービスの拡充を！

市長 福祉タクシー利用券の乗車1回当たりの利用枚数の見直しを行う

Q 本市における福祉タクシー利用券の複数枚利用が出来ないか伺う。

A **市長** 障害者総合支援法により国が定めた基本方針に基づき本市において策定した第6期下野市障がい者福祉計画は、市民誰もが障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互人格と個性を尊重し合いながら、障がいのある人もない人も共に生きる「共生のまち しもつけ」を目指し、施策を推進している。利用状況アンケート調査の結果、「1回に1枚の利用では足りない」との意見もあることから、近隣市町の実施状況を参考に、利用枚数の見直しを行っていく。

Q 障がい者補助用品助成の範囲を広げていく考えがあるか伺う。

A **市長** 視覚障がい者への補助用品の助成範囲の拡充については、今後、国や県、近隣市町の動向に注視しながら、用品の安全性や耐久性の検証を十分に行い、慎重に検討していく。





むら おみつこ
村尾光子議員が問う

有機農業

どうする？とちぎグリーン農業推進方針

市長 令和5年度は全農業者へのアンケートによる意向調査を実施する

Q 本年3月公表の、栃木県と県内全市町が共同で策定した「とちぎグリーン農業推進方針」には、みどりの食料システム法に基づく基本計画の配慮すべき事項として、地域の合意形成を挙げているが、本市はどう取り組んだのか。

A **市長** 県は生産、流通、消費の分野ごとに地域を代表する団体によるグリーン農業推進協議会にて、意見交換を通じた合意形成を図りながら策定した。県が実施した市町担当者への説明会や、重点取組のアンケート調査等を通して県と市町双方の連携と合意形成が図れた。

Q 推進方針には各市町の重点的な取組一覧表が掲載されており、13市町が有機農業取組面積拡大や学校給食の有機化を掲げている。本市の有機農業への取組は消極的である。また、2030年の県全体の目標値は示されているが、各市町単位のものはない。本市が何にどう取組むのかを明確にするため「下野版取組方針」を策定すべきである。

A **産業振興部長** 今年度は、全農業者意向調査を実施し、意見を整理した上で目標値を検討する。



とちぎグリーン農業推進方針

～環境負荷低減と収益性向上の両立を目指して～

令和5(2023)年3月

栃木県・宇都宮市・足利市・栃木市・佐野市・鹿沼市・日光市
小山市・真岡市・大田原市・矢板市・那須塩原市・さくら市
那須烏山市・宇野市・上三川町・益子町・渡米町・市貝町
芳賀町・壬生町・野木町・塩谷町・高根沢町・那須町・那珂川町

栃木県は県内全ての市町と共同してとちぎグリーン農業推進方針を策定した

全国市議会議長会表彰

去る6月14日、第99回全国市議会議長会定期総会において、地方自治の伸長発展と市政の向上、振興に多大なる貢献をされた功績として、本市議会では在職30年以上(※)として村尾光子議員が表彰されました。

また、全国市議会議長会地方財政委員会副委員長を務められた石田陽一議員に感謝状が贈呈されました。

市議会においては、定例会最終日に表彰伝達式を行いました。



村尾光子 議員

特別表彰(市議会議員30年以上在職)

※在職年数については、全国市議会議長会表彰規程に基づき、町議会議員時の在職期間は2分の1で計算されているため、町議会議員からの在職年数は通算43年となります。



石田陽一 議員

役職感謝状(全国市議会議長会 地方財政委員会 副委員長担当市)

議会活性化特別委員会 中間報告

議会活性化特別委員会は、令和4年第2回定例会で設置が可決され、これまでに計7回の委員会を開き、議長より諮問された3項目について調査・検討を進めてきました。

今定例会最終日に、諮問項目1の経過及び結果について相澤委員長から中間報告がありました。

①本会議・常任委員会議の配信について

◆開かれた議会を目指すうえで、本会議での一般質問及び市長の所信表明について、リアルタイムでの配信を行う方針を決定しました。今後は、その実現に向け、執行部との協議・調整を進めてまいります。

また、録画配信についても、市民ニーズに対応できるよう、よりスムーズな配信に取り組むことを決定しました。

◆来庁者に向けては、4階ロビーに設置するモニターと同様に、庁舎1階ロビーに設置されているモニターへ、議場の傍聴席を補完する形での放送を、第3回定例会から行うこととしました。

◆議場モニターを活用した一般質問等の資料表示については、設備の改修が必要であり、多くの費用が発生することを確認し、費用対効果等を含めて検討を進めた結果、傍聴者が資料を確認できるよう、閲覧用の資料を用意することを決定しました。

②政策提案に関すること

◆議員からの政策提案に関しては、議員間討議や具体的な調査・研究を行うことを目的とし、政策検討会議を立ち上げることを決定しました。

今後は、要綱等の作成に向けた検討を行います。

(委員長中間報告抜粋)

議長からの諮問事項

1. 議会運営の改革について
2. 議員研修のあり方について
3. 議員報酬及び政務活動費について

※諮問項目2、3については、次回からの検討項目となります。



報告する相澤委員長

議会だよりモニター 第3期がスタート

議会だよりモニター制度は、下野市議会基本条例第16条第2項「**議会は、多様な広報手段を活用し、多くの市民が議会及び市政に関心を持つよう、広報活動に努めるものとする**」との規定に基づき、市民の意見を議会広報活動に活かし、開かれた議会の実現に向け、モニターを設置する制度です。

公募により選ばれた9名の市民の方に議会だよりを読んでいただき、アンケートに答えていただくこの制度ですが、2期目のモニターが任期終了となり、3期目の方々新たに委嘱されました。男性3名、女性6名、20代から70代の幅広い年齢層です。

毎号の表紙のカラー変更やQRコードの掲載、クイズコーナー（P.16）は、モニターからの意見を取り入れて改良を重ねてきた部分でもあります。ご意見をいただくことで、市民にとっては難しく感じる言葉ということに気づかされたり、また若い世代の方の意見からは新しい視点が得られたりと、大変感謝しています。今後とも、より多くの方に読んでいただけるよう、改善に取り組んでまいりますので、2年間よろしく願いいたします。



1期目のモニター会議の様子

～議会だよりモニター活動内容～

- 市議会から年4回発行している議会だよりについて、アンケート調査への回答や意見、提案等をいただきます。
- 議会だよりモニター会議（年1回）へご出席いただきます。

任期：令和5年5月1日～令和7年3月31日

議会を傍聴してみませんか

議会は、市の予算や条例など、市民にとって重要な事項が審議されます。また、一般質問では、市政に対する市長や議員の考え・方針の一端を、市民の皆さんが直接見聞きすることができます。

傍聴するには、会議当日、市役所4階で備え付けの受付票に住所・氏名を記入し、受付箱に投函してください。職員がご案内します。

定例会本会議は議場または4階ロビーのモニターで、常任委員会は議会特別会議室の後方で傍聴することができます。

議会だよりでお知らせしている開始時刻・会議内容等はあくまで予定ですので、傍聴へお越しになる際は議会事務局（0285-32-8914）までお問い合わせください。



議場での本会議のようす



議会特別会議室での会議のようす



議場 傍聴席からの景色

議会年間スケジュール

- 4月
アカデミー
研修等
- 5月
第2回
定例会
- 6月
議長会
研修等
- 7月
議長会
研修等
- 8月
- 9月
第3回
定例会
- 10月
行政視察・
懇談会等
- 11月
- 12月
第4回
定例会
- 1月
議長会
研修等
- 2月
- 3月
第1回
定例会

市議会議員は、議会としての活動以外に、随時研修会等の参加や地域行事に出席するなど幅広く活動しています。議会としての活動については、P.3 議会の動きをご覧ください。

次回

**第3回
定例会
(9月議会)
の予定**

日	月	火	水	木	金	土
8月27日	28	29	30	31	9月1日	2
				本会議 開会		
3	4	5	6	7	8	9
	本会議 代表質問 一般質問 一般質問				常任委員会	
10	11	12	13	14	15	16
	常任委員会					
17	18	19	20	21	22	23
	敬老の日					秋分の日
24	25	26	27	28	29	30
	本会議 閉会					



※会議の予定は変更になることがあります。
※日程が決定次第、市議会ホームページでお知らせいたします。



小学3年生のみなさんが議場を見に来てくれました



議場に続く廊下には歴代議員さんの集合写真があります

5月から6月にかけて、緑小学校、石橋小学校、石橋北小学校、細谷小学校、国分寺小学校、国分寺東小学校、古山小学校の3年生が市役所4階議会フロアまで見学に来てくれました。普段はなかなか入ることのない議場に入ると、自然と緊張感のある面持ちになり、議会や議場についての話をしっかり聞いていました。



4階ロビーには議場内を映すモニターが設置されています(会期中のみ)



議長が公務の合間に駆けつけてくれました



真剣に説明を聞いていました



天気の良い日は展望テラスも見学できます

ぎかいだより クイズ

- 1 小学生は〇〇へ見学に来てくれました。
 - 2 国分寺小学校・南河内小中学校スクールバスに、置き去り防止のため〇〇装置が設置されます。
 - 3 第3期議会だよりモニターは〇名の方に決定しました。
- ◀前号のクイズの答え▶ ①：26 ②：賄材料 ③：ドイツ



＜応募方法＞
①～③までのクイズの答え・住所・氏名・年齢・議会だよりを読んだ感想をお書きのうえ、ハガキでご応募ください。
正解者の中から、抽選で10名の方に「災害備蓄品おためしセット」をお送りします。(当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。)

＜あて先＞
〒329-0492 下野市笹原26番地
下野市議会事務局
「議会だよりクイズコーナー」宛

＜しめきり＞
9月15日(金) (当日消印有効)

議会だよりの中に答えがあるので探してみてくださいね

編集後記

あっという間の1年でした。市民の方々が老若男女問わず、お手に取って読みたい！と思ってもらえるような『議会だより』が作れているのか、自分に問うてみて、否！即答します…変革を促し実行することが、どれだけ大変なことなのか、痛感しました。誰に向けた冊子なのか？誰に読んでもらいたいのか？市民の方々は、活字がずらりと並ぶ単色使いの議会だよりなどに興味が湧くのか？正直、自分は議員になるまで手に取り開いた事ありませんでした。その自分だからこそその変革をと求めて止みません…。従来の方を変えなければいけません。今は、平成、越えて令和なのです。今のニーズに合わせる努力が必須だと私は考えます。

(山下みゆき)

下野市社会福祉協議会ボランティアセンターにおいて、議会だよりの音訳CDを貸し出しています。電話 0285(43)1236

発行編集 栃木県下野市議会 議会だより編集委員会

委員長 村尾 光子
副委員長 伊藤 陽一
委員 山下みゆき
西本由利子
石川 浩
金子 康法

※次号 (No.70) は 11月15日に発行します

下野市議会だより1部あたりの印刷製本費は約22.6円です。